

松蔭 校長室だより

2026年 7月 1日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

松蔭中学校・松蔭高等学校
校長 浅井宣光

その人は流れのほとりに植えられた木。時が巡り来れば実を結び、葉もしおれることがない。(詩篇1:3)

1学期末をむかえて PTA 活動もスタートしています

梅雨明けが近づいてきました。すでにヨーロッパ各地では熱波襲来が報じられており、フランスのパリでは40.1℃を記録しています。国内各地でも日中の最高気温が30℃を超える地域が増え、昨夏以上の猛暑が予想されています。

これからむかえる学期末と夏休み期間、そして2学期初めの3ヶ月間ほどの期間、学校では熱中症予防に努めます。教員間では、次のとおり対処することを確認しています。

(1) 神戸地域に「熱中症警戒アラート」(予測)が発令されている場合、

活動時間の調整や体調の聴き取り等のほか、こまめな休息時間の確保と給水など熱中症予防対策を十分に講じます。暑さ指数(WBGT)が31℃以上となった場合、また「熱中症特別警報アラート」が発令されている場合は、グラウンドおよび体育館での運動部活動等を原則として中止します。空調設備のある室内での活動は可としています。

登下校途中の体調にも留意するよう指導します。今年度より予報用語として、猛暑日(最高気温35℃以上の日)に加えて酷暑日(最高40℃以上の日)ができました。猛暑日、酷暑日の予報がある場合は特に生徒の健康状態に留意します。

(2) 体育館では、保健体育科教員、クラブ顧問の管理のもとでスポットクーラーを稼働させるなど対策を講じます。

(3) クールスポットとしてエセルホールを開放します。ただし、教員夏期休業期間8/4~8/18の開放はありません。

(ご参考)環境省「熱中症予防情報サイト」→[環境省 熱中症予防情報サイト 暑さ指数とは?](#)



<職員室前掲示板 暑さ指数(WBGT)掲示>

PTAの第1回運営委員会を6月27日に開催し、各クラス代表ほか役員の皆様にご出席いただきました。小谷会長(高3)より、「スクールモットーのOpen Heart, Open Mindの言葉とおり、学年を超え、あたたかく、つながるPTA活動をすすめてまいりましょう」とご挨拶いただきました。PTA文化・生活・広報の各特別委員会による取り組みもすでに始まっています。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。生徒の同窓会ならぬ、PTA同窓会として交流を続けておられる卒業生の保護者の方々も少なくありません。ご息女・ご子息の入学で芽生えたご縁を教員ともども大切に育ててまいりたいと思います。

学校の主人公である生徒、そして保護者と教職員が三位一体となって、共学化の一歩めを踏み出した「新章松蔭」の学校づくりをすすめてたいと思います。

一人ひとりの生徒の魂が豊かに実を結び、心と身体がバランスよく成長する夏となるよう祈っています。



<高3体育「心肺蘇生法・AED」の実習授業 6/24 撮影>



<中1生徒「espoワールの広場」でランチタイム 6/23 撮影>

チャプレンの異動のお知らせ

キリスト教主義教育の中心として礼拝や宗教教育を担当するチャプレンは、今年度4月より、坪井智チャプレンと新任の成岡宏晃チャプレンの2名体制でスタートしました。このたび日本聖公会神戸教区の人事異動により、坪井チャプレンが島根県松江市の聖公会松江キリスト教会へ転任されます。遠方への転任のため、松蔭中高チャプレンの職は辞されました。

坪井先生の40年にわたる松蔭でのお働きに感謝し、新たな地でのご活躍をお祈りいたします。今後のチャプレン職は、成岡チャプレンおひとりで務めていただきます。成岡チャプレンは、芦屋市の聖公会芦屋聖マルコ教会の司祭です。お近くにいらっしゃる際には、ぜひこちらの教会にもお立ち寄りください。

前年度 公費助成額（国、兵庫県、神戸市からの補助金）の報告

私立学校は、建学の精神に則り、独自の教育方針のもとで教育活動を展開しつつ、公立学校とともに公教育の一翼を担っています。これにより私立学校振興助成法等のもとで国、兵庫県、神戸市より公費助成を受け、保護者の皆様の校納金負担を抑制しています。前年度（2025年度）分につきまして、下記のとおり公費助成額が決定しておりますのでお知らせします。

<2025年度分 松蔭中学校・松蔭高等学校への各公費助成の総額>	
○兵庫県経常費補助金等	271,340,000 円
○神戸市補助金等	2,526,906 円
○高校生への就学支援金	47,824,700 円